

■日時 8月9日(月) ■天候 曇り 東京都立大森高校 対 師友塾高校・通信制
 ■球場 明治神宮野球場 第2試合 1回戦 ■試合時間 3時間12分 ■備考
 ■審判 球審:小番 塁審:原田 末柄 渡辺真

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
大森	東京2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0			4	7	2
師友塾・通	西中国・広島	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1x			5	7	2

大森		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
1	遊	投	松本 聡	5	1	0	0	四球		三振		左飛		死球		左飛		三ゴ		投ゴ		
2	二		手塚 京介	6	0	0	0	二ゴ		三失			三ゴ	三ゴ		三飛		四球		右飛		
3	中	遊	亀本 光則	5	1	2	1	遊飛		投飛			捕飛	中安		左安		四球		四球		
4	捕		成瀬 雄也	4	2	2	1	三振			遊ゴ		中2	右2			四球		死球			
5	投	中	西藤 千尋	6	0	1	0		中安		三振		三失	三選			三振		三振			
6	三		三上 康佑	5	0	0	0		遊ゴ		三振		四球	投ゴ			二飛		三ゴ			
7	一		熊川 圭介	5	0	2	2		三振			四球	中安		中飛		左安		中飛			
8	右		本嶋 望	6	0	0	0		三振			一ゴ	投ゴ		捕飛		三ゴ		投ゴ			
9	左		安齋 壮亮	6	0	0	0			三振		三振		遊ゴ	二飛			投ゴ			三振	
合計				48	4	7	4	残塁:13 併殺:0														
備考																						

■バッテリー

投手
西藤 千尋
亀本 光則
松本 聡

捕手
成瀬 雄也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
西藤 千尋	1 1/3	10	1	1	5	2
亀本 光則	3 2/3	17	2	4	4	1
松本 聡	7 1/3	31	4	2	5	1

師友塾・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
1	二		増田 徳彦	3	1	0	1	遊飛	四球		四球		中飛		二ゴ		死球			投儀		
2	中		力武 充	4	1	0	0	四球	四球		二飛		三ゴ			中飛	左飛			四球		
3	三		坂本 光平	5	1	1	1	四球	三振		右安		投飛			中飛		投飛		四球		
4	遊	投	酒井 洋輔	6	0	3	1	右安	四球		捕飛			遊ゴ		三ゴ		三安		投安		
5	捕		上島 巧也	6	1	0	0	三振	中飛		三振			三振			振逃	二飛				
6	一		中村 享平	4	0	0	1	四球		三振		四球		三邪			二飛		遊飛			
7	投	遊	福島 龍二	5	0	1	1	四球		中安		遊飛			遊ゴ		中飛			三ゴ		
8	右		白川 溪太	4	0	1	0	捕邪		遊飛		遊ゴ			遊安		死球					
8	走		佐原 雅幸	0	0	0	0															
8		右	森上 偉久馬	1	0	0	0													遊ゴ		
9	左		茂田 諒治	2	0	0	0		捕飛	三ゴ												
9	打	左	小川 政紀	2	1	1	0					三振			投儀		四球			左安		
合計				42	5	7	5	残塁:16 併殺:0														
備考																						

■バッテリー

投手
福島 龍二
酒井 洋輔

捕手
上島 巧也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
福島 龍二	6 0/3	26	3	8	3	0
酒井 洋輔	7 0/3	30	4	3	5	3

■戦評

大会第1日目、神宮球場の第2試合、大森対師友塾の初出場同士の対戦は、初回、後攻の師友塾が制球の定まらない大森先発西藤の立ち上がりを捉え、二つの四球と4番酒井の右前打等で二死満塁のチャンスから連続四球による押し出しで2点を先制。4回裏にはこの回先頭1番増田が2回途中からリリーフした大森2番手亀本から四球を選びわずか二盗に成功。3番坂本が右前適時打で返し3-0とリードを広げる。一方大森は師友塾先発福島の小気味よい投球の前に5回まで1安打8三振に押さえ込まれていたが、6回表二死から4番成瀬が中堅越二塁打で出塁。敵失と四球で二死満塁となり7番熊川の中前適時打で1点を返し反撃開始。続く7回にはこの回から代わった師友塾2番手酒井から死球で出塁した走者を3番亀本が中前適時打で返す。続く4番成瀬も右翼線適時二塁打で亀本を返し同点に追いつく。試合はこのまま延長に入り、10回表大森の攻撃はこの回先頭4番成瀬が四球を選び二盗、三盗に成功。二死三塁となり7番熊川の左前適時打で4-3とし、この試合初めてリードを奪う。その裏師友塾は6回からリリーフした大森3番手松本に9回まで1安打に押さえられていたが、振り逃げと二つの四死球で二死満塁とねばり、1番増田が死球で押し出し同点。13回裏師友塾はこの回先頭途中代打から守備についていた9番小川が左前打で出塁。1番増田が確実に送り二塁への牽制悪球で一死三塁となったところで大森は満塁策をとる。ここで4番酒井が放った一打は投手横へ大きく弾む内野安打となりこの間に三塁走者小川が大応援団の割れんばかりの歓声のなか本塁を駆け抜けゲームセット。サヨナラで師友塾が3時間12分にわたる熱戦にピリオドを打った。